



①日本語学校修了 ②初めて花を生けるダイアナさん ③「一」から書道に望む様子 ④お世話になったみなさんと修了式で集合写真

文化を学び、ルーツをたどる

「ふるさと」の文化を知るため、その言葉を知ろうと必死に勉強に励んだ研修生。日本語学校で仲間と共に学び、着実に上達していききました。

初めて三線の弦を弾いたときからその音色のとりこになってしまったファビオさん、琉球舞踊を舞うと、幼い頃踊りを教えてもらった祖母との記憶が鮮やかに蘇るというダイアナさん。待ち焦がれた文

化研修では、喜びをかみしめながら、点と点を繋ぐように、ルーツをたどりました。

また、企業訪問では、日本企業の作業の流れや伝統工芸に触れ、多くの刺激を受けました。広告会社勤務の経験を持つファビオさんは、「株式会社宣伝」で、チームワークの大切さを実感しました。以前から紅型に興味があったダイアナさんは、「やふそ紅型工房」で実際に製作に励み、母国でも紅型の良さを広めたいと語りました。

別れ、そしてはじまり

平成29年11月29日、いよいよ研修の成果を発表するときを迎えました。親戚、研修の先生、友達…。お世話になった多くの関係者に見守られるなか、琉球舞踊「鳩間節」「かなよー」を舞い、三線を堂々と弾き語りました。最後には、5か月間の経験を経て、溢れる想いを込め、涙ながらに日本語でスピーチし、修了式・送別会は幕を閉じました。

2人は、それぞれの切符を手へ帰り路に着きましたが、それはまだスタート地点に過ぎません。すでにブラジルではファビオさんが従弟や親戚に三線を教え、アルゼンチンではダイアナさんが、浦添にルーツを持つ若い世代と研修の経験を分かち合っています。そして、3月にはそれぞれ現地市人会の新年会で、研修の成果発表を控えています。

研修生のルーツにかける熱意は、沖縄に住む私たちにも、新たな気づきを与えてくれます。この出会いを大切にすることで、海を越え、世代を超え、さらなる絆が広がるかもしれません。



海を越え、世代を超え 「おかえりなさい」

戦前戦後を通じ、浦添から南米に渡ったウラシーンチュたち。その子孫たちが、ルーツを求めて「ふるさと」浦添の地に舞い戻り、今年もまた新たな絆が生まれました。



①真剣に三線の稽古に励む研修生 ②浦城小学校での交流会

平成29年度 浦添市 南米移住者子弟研修生 受入事業

浦添市では、昭和63年より毎年、浦添から南米に渡った移住者の子弟を研修生として迎え入れています。研修生は7月から12月までの5か月間、日本語研修や琉球舞踊、三線、書道、華道といった文化研修のほか、企業訪問や地域交流を通して沖縄・日本の文化を学びます。帰国後は、研修で得たことを母国に伝え繋ぎ、本市との架け橋となることとが期待されています。

今年度は、ブラジルから新垣ファビオいさむさん、アルゼンチンから岡山ダイアナアレハンドラさんが研修に参加しました。

海の向こうのオキナワ

地球の反対側からきた研修生をじっと見つめる子どもたち。今年度は、港川・沢畠・浦城小学校を訪問し、「移民」について紹介しました。子どもたちは、2人の先祖が浦添出身であることや現地に根付く沖縄文化を知り、互いの距離を一気に縮めます。子どもたちは、「僕の親戚も南米にいるかな」、「沖縄で生まれた私よりも沖縄のことを知っている」と関心を寄せ、海に向かってあるオキナワを感じたようでした。「ふるさと」に返ってきた2人を温かく迎え入れた子どもたち。研修生と子どもたちは沖縄の精神いちやればちよーの心で絆を深めました。



「ただいま」「発見」「感謝」3つの言葉。

私の沖縄の研修は、「ただいま」「発見」「感謝」の3つの言葉で表せます。自分のルーツ、お父さんの故郷、沖縄・浦添というおうちに戻って、親戚やたくさんの親切な人たちに会い、第一の言葉は「ただいま」になりました。皆さんからのすべての教えが、新しい事に気付かせてくれて、私の中で「発見」という言葉になりました。そして、ウラシーンチュの皆さんに「感謝」の気持ちでいっぱいです。イッペーニフェデービル！浦添で学んだことは、ブラジルでも伝えていきたいと思っています。



▲帰国後、三線を教えるファビオさん

新垣ファビオいさむ
(ブラジル連邦共和国)

夢をかなえることができました。

沖縄に来る前、私はとてもマチカンティーしていました。子どものころから、ひいおばあさんが生まれたふるさに行きたくて夢見ていたからです。浦添市の研修に参加して、その夢をかなえることができました。この経験をずっと忘れることはありません。沖縄の人は、家族のように優しく、最初からそのイメージは変わりません。浦添市の皆さん、親戚の皆さん、友達に感謝しています。本当にありがとうございました。



▲移民子弟たちと帰国後に交流する様子

岡山ダイアナアレハンドラ
(アルゼンチン共和国)

南米からのおたより
Back Number



「南米からのおたより」では、母国に帰国した南米研修生からのおたよりを、浦添市のホームページで紹介しています。ペルー、ブラジル、アルゼンチンの文化や、各国の浦添市人会の様子をお楽しみください。



▲「南米からのおたより」のページ